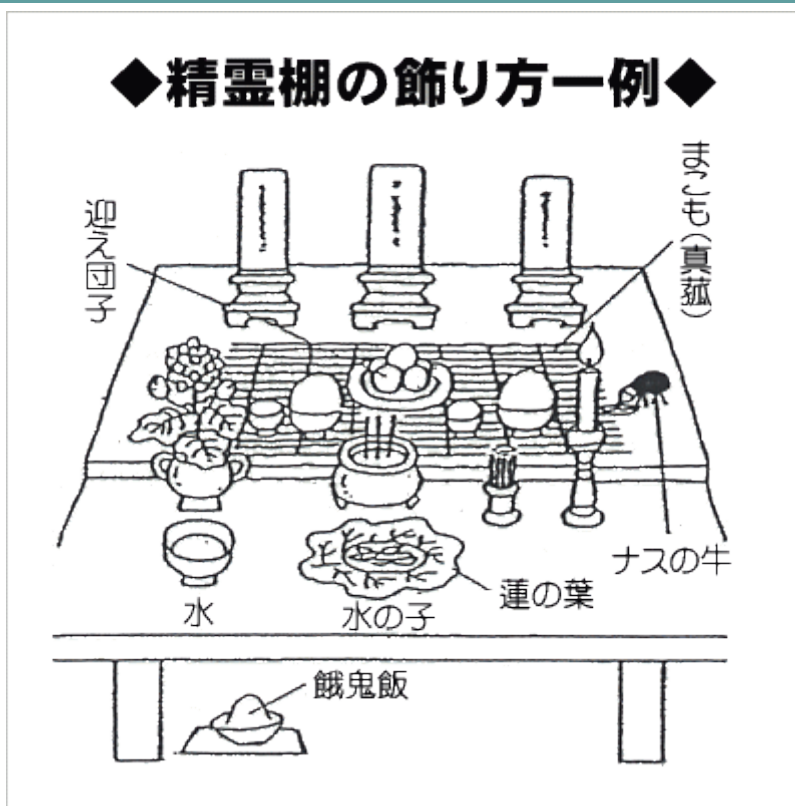


◆精霊棚の飾り方一例◆



お盆の精霊棚の一例。机に真菰まこもを敷き仏壇の中からお位牌を移します。香炉・灯明・花立・水向け皿・水の子・茄子の牛・胡瓜の馬。

五如来ごによらいの幡はた

施餓鬼会せがきえのときにお渡りする、五如来の幡には五尊の如来の名が印されています。それぞれの名と役割は次のとおりです。

宝勝如来ほうしょう によらい	貪りの心を除く
妙色身如来みょうしきしん によらい	姿を整える
甘露王如来かんろおう によらい	心を楽にさせる
広博身如来こうぱくしん によらい	飲食を受け入れさせる
離怖畏如来りふい によらい	怖れを除き餓鬼道を離れさせる

空気一息、水一滴、一椀の食事など、生き生きとした寿いのちの働きにより今日の一日があります。この生かされる側から、生かされた方に気配りができれば、苦を乗り越えられましょう。簡単なことですが、それだけに難しいことです。人生は出会い。自分が縦糸ならば、出会う人々が横糸となって生涯の織物はできていきます。善い出会いを大切にしたいものです。蝉しぐれの暁天に、講師の先生方から、この道を拝聴させていただきます。

とき

平成26年7月22日(火)、23日(水)、24日(木)

毎朝6時～7時

入場無料(どなたでもお聞きいただけます)

ところ

豊橋市花園町 豊橋別院

7月22日(火)『旅の終わりに』

曹洞宗乾徳山長興寺住職曹洞宗東海管区センター布教師 森田 勝准

もりた しょうしゅん先生



私たちの人生は、汽車の旅に例えることができるでしょう。そして、私たちが乗り込んだ人生という汽車は、いつか必ず終着駅に到着します。終着駅に笑顔で降りるために、今、何をしたらよいのでしょうか。ご一緒に考えてみませんか？

7月23日(水)『なんだっていいのです』

大正大学客員教授、宗教文化研究所 所長 ひろ さちや 先生



演題を見て、びっくりされた人も大勢おられるでしょう。でも、これがお釈迦さまの教え、仏教の教えです。あなたが貧乏なら、貧乏のまま、劣等生は劣等生のまま、楽しく生きれば良いのです。

7月24日(木)『いのちの聲に耳を澄ます』～東日本大震災でのボランティア活動を通じて～

全曹青災害復興支援部アドバイザー復興支援室分室主事 久間 泰弘
きゅうま たいこう先生



1970年生。平成23年3月の東日本大震災発生時は、[全国曹洞宗青年会](#)第18期会長として災害復興支援活動に従事。同年5月より平成25年5月まで、同会顧問・災害復興支援部アドバイザーとして、被災各地での曹洞宗青年会や各種団体の災害復興ボランティア活動コーディネートをを行う。平成25年5月より現在まで[曹洞宗](#)復興支援室分室主事・全曹青災害復興支援部アドバイザーとして支援活動継続。18歳までの電話窓口「チャイルドラインふくしま」事務局長兼理事。

嘉禄の法難 選択集通読

去る6月22日、嘉禄の法難の日に、知恩院御廟前にて『選択集』通読を行いました。第一章から第十六章までの全部です。

参加者は加藤良光と伊勢教区蓮浄寺堤康雄上人・本誓寺西山靈峰上人・薬師寺土居上人・滋賀教区法蔵寺阿頼耶文雄上人の5名でした。



平成26年6月22日 嘉禄の法難『選択集』通読 知恩院御廟拝殿にて

住職の短歌

平成24年に詠んだ短歌の続き([前回](#)は平成26年5月号)を掲載します。

詠唱の三河大会幸田町曲を奉納もろ人笑顔

鳥羽の海見下ろす丘の宿に来て二時間通しの講演を聞く

雪被る十一月の伊吹山腰の辺りは秋色の妙

浜松の葬斎場に集い来て光明攝取和讃唱える

埼玉の本庄市内円心寺言葉を説いて詠歌唱える

夕映えに光る白雪富士の山麓の色よ清浄となれ

生け垣の満天星躑躅紅葉色師走朔日命日の家

十二月三河安城駅の外稜田の列に夕陽差し込む

十二月滋賀の平野の田畑には枯れ草色と麦の草色

伊吹山雪雲懸かる十二月魔神のような構えの姿

雪の朝窓の外にはエンジェルが舞い飛んでいるあちらこちらと

冬空に櫛の樹形現れる春は必ず来ると信じて

寺行事案内

盆大施餓鬼会 ぼんだいせがきえ

平成26年7月29日(火)午後2時～午後6時半

時間申し込みをして下さい。詳細は6月号にあります。

お盆の棚行 おぼんのたなぎょう

8月1日より15日まで

日程・時間は葉書にてご通知します。

お盆の迎え方

8月13日

1. 盆棚飾り

小机または膳引き板に真菰まこもの筵むしろまたは蔭ごぎを敷き、仏壇の中からご先祖のお位牌をお移して安置します。

天井より女竹または苧殻おがらを水平に吊るし、五如来の幡はた※1や、鬼燈ほおずきを掛けます。

お位牌の前には、香炉・灯明・花立て・霊供膳・水向け皿・溝萩みそはぎ※2・水の子みずのこ※3・茄子の牛・胡瓜の馬・野菜・果物・団子・おはぎ等をお供えします。

※1 幡はた

盆大施餓鬼の際にお渡します。

※2 溝萩みそはぎ

水向けの為の草花・ミソハギ科の多年草で

淡紅紫色の六弁小花を長い穂状に密生させている。

溝萩がない場合は南天の葉で代用します。

※3 水の子みずのこ

茄子のサイの目切りと洗米を混ぜたものを蓮の葉に盛りつけます。

2. 提灯飾り

お迎え提灯・家紋提灯

3. 迎え火

先にお墓の前でタイマツを焚き、次ぎに自宅門前でタイマツを焚きます。

4. お供物

迎え団子・お水をお供えしてお精霊しょうろさまをお迎えします。

8月14日

3度のお膳、菓子・果物・野菜など

8月15日

1. 3度のお膳、菓子・果物・野菜など

2. 送り火

先に自宅門前でタイマツを焚き、次ぎにお墓の前でタイマツを焚きます。

3. お供物

お供物なまものを普仙寺門前の納め所へ納めます。

8月16日

1. 灯籠流し

牟呂市場町の柳生川の河岸にて、夜7時より。初盆の方は無料。材料を8月13日に普仙寺で配布します。初盆以外の方は、材料代500円。本堂に置いておきます。

8月25日

1. 魂まつり(提灯納め)

豊橋仏教会主催行事。松葉公園にて午後5時より7時まで。納め料2,000円以上。